

(14) 元野幌土地区画整理事業

本地区は、野幌駅から北西約1.5kmに位置し、明治初期から屯田兵により開拓が進められて集落が形成された。また、畑作と酪農を主産とする純農村部として発展しており、札幌市に近接する地域特性により住居が点在し、開発が待たれていた。

湯川公園、風防緑地帯等恵まれた環境のもとに都市計画道路4番通を基幹とする都市施設の整備改善に努め、宅地の利用増進を図り、健全な住宅市街地の造成を行なった。

《 事業概要 》

施 行 者	組 合	公 共 減 歩 率	24.9%
施 行 面 積	45.8ha	保 留 地 減 歩 率	21.6%
施 行 期 間	昭和57～平成4年度	合 算 減 歩 率	46.5%
総 事 業 費	3,610,823千円	公 共 用 地 率	28.3%
設 立 認 可	昭和57年12月 8日	都 市 計 画 道 路	3.2ha (2.0km)
認 可 公 告	昭和57年12月16日	区 画 道 路	8.1ha (11.8km)
仮 換 地 指 定	昭和60年 2月20日	公 園 ・ 緑 地	1.4ha
換 地 処 分 の 公 告	平成 2年 2月15日	そ の 他 公 共 用 地	0.3ha
解 散 認 可 公 告	平成 4年 4月10日	保 留 地 面 積	9.5ha

《 区域図 》

